

情報処理科・経営管理科 1年A・B・C・D組

|       |               |      |                |       |
|-------|---------------|------|----------------|-------|
| 教科名   | 公民科           | 科目名  | 現代社会           | (2単位) |
| 使用教科書 | 最新現代社会 (実教出版) | 副教材等 | 最新図説 現社 (浜島書店) |       |

### 1 科目のねらい (目標)

人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに、自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

### 2 科目・授業の内容と進め方

教科書を中心に、資料集で用語・事象についての解説をしながら授業を展開します。夏季休業・冬季休業前にテーマを取り上げて各自で考え、課題としてレポートを作成し、作成したレポートを中心にプレゼン(発表)してもらいます。

タイムリーに時事的な事象を取り上げ、どのような課題があるのかを考えてみます。

定期考査では、用語などの丸暗記にならないように考慮し、図やグラフなどから考察できるような問題を出題します。

### 3 学習の方法

- ・授業を大切にして、授業の中で理解し吸収できるように集中して聞き、メモを取りましょう。
- ・新聞を常に注意しながら読み、テレビなどからの情報に耳を傾けましょう。
- ・課題のレポート作成に向けて、自分自身のなかでテーマを決め、普段から新聞等に注意をして記事などを切り抜き残しておくようにしましょう。

### 4 課題・補習について

- ・夏季休業、冬季休業の時にテーマ別のレポートを課題として出します。
- ・定期考査後、理解度が低い場合は追試などの補習を行います。

情報処理科・経営管理科 1年A・B・C・D組

|     |     |     |           |
|-----|-----|-----|-----------|
| 教科名 | 公民科 | 科目名 | 現代社会（2単位） |
|-----|-----|-----|-----------|

5 年間の学習計画

| 月  | 単元名  | 学習する内容   | 評価方法<br>(課題等)                                 |
|----|--|--|---|
| 4  | 第1部 わたしたちの生きる社会<br>第1章 地球環境問題<br>1・2 破壊される地球 3 地球環境問題への取り組み  | 地球温暖化 オゾン層の破壊 砂漠化 酸性雨<br>国際的な取り組み 京都議定書<br>●地球環境の危機 ●自然破壊から共生へ   | ・行動観察<br>・提出物                                 |
|    | 第2章 資源・エネルギー問題<br>1 限りある資源 2 エネルギーの開発と利用<br>3 人口問題と食料・水資源  | 石油資源 新エネルギー 資源ナショナリズム<br>原子力エネルギー 一般廃棄物 産業廃棄物<br>不法投棄 リサイクル 資源循環型社会<br>●資源をめぐる動向<br>●原子力と再生可能エネルギー ●人口と食料                  |   |
| 5  | 第3章 生命科学と情報技術の課題<br>1 人間の精子と生命科学 2 遺伝情報と利用の諸課題<br>3 高度情報化社会と情報倫理   | 人工授精 尊厳死 バイオエシックス 安楽死<br>脳死 インフォームド・コンセント 臓器移植法<br>ドナー ヒトゲノム DNA クロウン IT革命<br>インターネット プライバシー 知的財産権                         | 前期中間考査  |
|    | 第2部 現代の社会と人間<br>[1] 青年期と自己の形成<br>第1章 自分らしく生きる<br>1 青年期とは 2,3 自己形成の課題 4 職業生活と社会参加   | エリクソン ルソー 第二の誕生<br>アイデンティティ パーソナリティ<br>リスマン フリーター ニート  |   |
|    | 第2章 人間としてよく生きる<br>1 哲学と人間 2 宗教と人間 3 科学と人間 4 自由の実現<br>5 人間と幸福 6 人間性の回復と主体性の確立<br>7 他者の尊重  | ソクラテス プラトン アリストテレス デカルト<br>ベーコン カント キリスト教 イスラム教 仏教<br>マルクス マザー＝テレサ   |   |
| 6  | 第3章 日本人としての自覚<br>1 古代日本人の思想と仏教思想の展開<br>2 外来思想の受容と日本の思想   | アニミズム 仏教 儒教 西洋思想<br>●日本の宗教・思想の展開   | 前期中間考査  |
|    | [2] 現代の民主政治と日本国憲法<br>第1章 現代国家と民主政治<br>1 民主政治の成立 2 民主政治の基本原則<br>3 民主政治のしくみと課題 4 世界の主な政治制度   | 3つの原理 ロック 社会契約説 基本的人権<br>法の支配 立憲主義 国民主権 議会制民主主義<br>大統領制 議院内閣制  |   |
| 7  | 第2章 日本国憲法の基本的性格<br>1 日本国憲法の成立 2 日本国憲法の基本的性格<br>3 自由に生きる権利 4 平等に生きる権利<br>5 社会権と参政権・請求権 6 新しい人権<br>7 人権保障の広がりと公共の福祉 8 平和主義とわが国の安全<br>9 こんにちの防衛問題 夏季休業中の課題 (テーマ決め・調べ学習) | 明治憲法 日本国憲法 三大基本原理 国民主権<br>基本的人権の尊重 平和主義 最高法規<br>自由権 平等権 社会権 新しい人権 公共の福祉<br>平和主義 文民統制 非核三原則<br>PKO 自衛隊                      | ・行動観察<br>・提出物<br>・自己・相互評価表への記入                |
| 8  | 第3章 日本政治機構と政治参加<br>1 政治機構と国会 2 行政権と行政機能の拡大<br>3 公正な裁判の保障 4 地方自治と住民福祉<br>5 政党政治 6 選挙制度 7 世論と政治参加  | 国会 二院制 議院内閣制 行政 憲法の番人<br>裁判所 裁判員制度 地方自治 選挙制度<br>ドント方式 比例代表 政党政治 世論 圧力団体  |   |
| 9  | 第3章 日本政治機構と政治参加<br>1 政治機構と国会 2 行政権と行政機能の拡大<br>3 公正な裁判の保障 4 地方自治と住民福祉<br>5 政党政治 6 選挙制度 7 世論と政治参加  | 国会 二院制 議院内閣制 行政 憲法の番人<br>裁判所 裁判員制度 地方自治 選挙制度<br>ドント方式 比例代表 政党政治 世論 圧力団体  | 前期期末考査  |
| 10 | [3] 現代の経済社会と国民生活<br>第1章 現代の経済社会<br>1 経済主体と経済活動の意義 2 経済社会の変容<br>3 市場のしくみ 4 市場の失敗 5 現代の企業 6 国民所得<br>7 経済成長と国民の福祉 8 金融の役割 9 日本銀行の役割<br>10 財政の役割と租税 11 日本の財政の課題          | 資本主義経済 社会主義経済 市場 寡占<br>コーポレートガバナンス コングロマリット<br>GDP 経済成長 ストック フロー<br>インフレ デフレ 金融 日本銀行 金融緩和<br>公開市場操作 財政 歳入 歳出 租税 税制改革<br>国債 | ・課題調査及び発表<br>・作品提出<br>・行動観察<br>・提出物<br>後期中間考査 |
| 11 | 第2章 日本経済の特質と国民生活<br>1 戦後復興から高度経済成長へ 2 安定成長からバブル経済へ<br>3 日本経済の課題 4 日本の中小企業 5 日本の農業<br>6 消費者問題 7 公害防止と環境保全<br>8 労働問題と労働者の権利 9 こんにちの労働問題<br>10 社会保障の役割 11 社会保障制度の課題     | 経済の民主化 高度経済成長 石油危機<br>バブル経済 バブル崩壊 構造改革<br>ベンチャー企業 公害 環境アセスメント<br>労働三権 労働三法 雇用 社会保障制度                                       |   |
| 1  | [4] 国際社会と人類の課題<br>第1章 国際政治の動向<br>1 国際社会と国際法 2 国際的な人権保障と国際政治<br>3 国際連合と国際協力 4 冷戦の成立とその崩壊<br>5 こんにちの国際政治 6 人種・民族問題<br>7 軍拡競争から軍縮へ 8 国際平和と日本の役割                         | 国際法 NGO 集団安全保障 国際連合<br>平和維持活動 人種問題 民族問題 東西冷戦<br>冷戦の終結 国際貢献<br>●国際政治の動向 ●かわるアフリカ<br>●人間の安全保障 ●パレスチナ問題                       | ・行動観察<br>・提出物                                 |
|    | 第2章 国際経済の動向と国際協力<br>1 貿易と国際収支 2 外国為替市場のしくみ<br>3 第二次世界大戦後の国際経済 4 地域的経済統合の進展<br>5 こんにちの国際経済 6 発展途上国の諸問題<br>7 経済協力と日本の役割  | 経済のグローバル化 為替レート 国際収支<br>GATT ウルグアイラウンド APEC TPP<br>ODA ●世界経済 その現状と課題   |   |
| 2  | 第3部 共に生きる社会をめざして<br>1 WTO体制と発展途上国 ー公正な国際貿易をめざしてー<br>2 個人の自由と持続可能な社会  | WTO  | 学年末考査   |
| 3  |  |  |   |

